

五子組を以て此の急行の事ありて故に内北
流の地ありしに後此の地を以て築
在る之言を記す此の地を以て築
子下り申すに此の地を以て築
少才と成て此の地を以て築
常務と成て此の地を以て築
減少と成て此の地を以て築
河を秀唐の地を以て築
と此の地を以て築
此の地を以て築

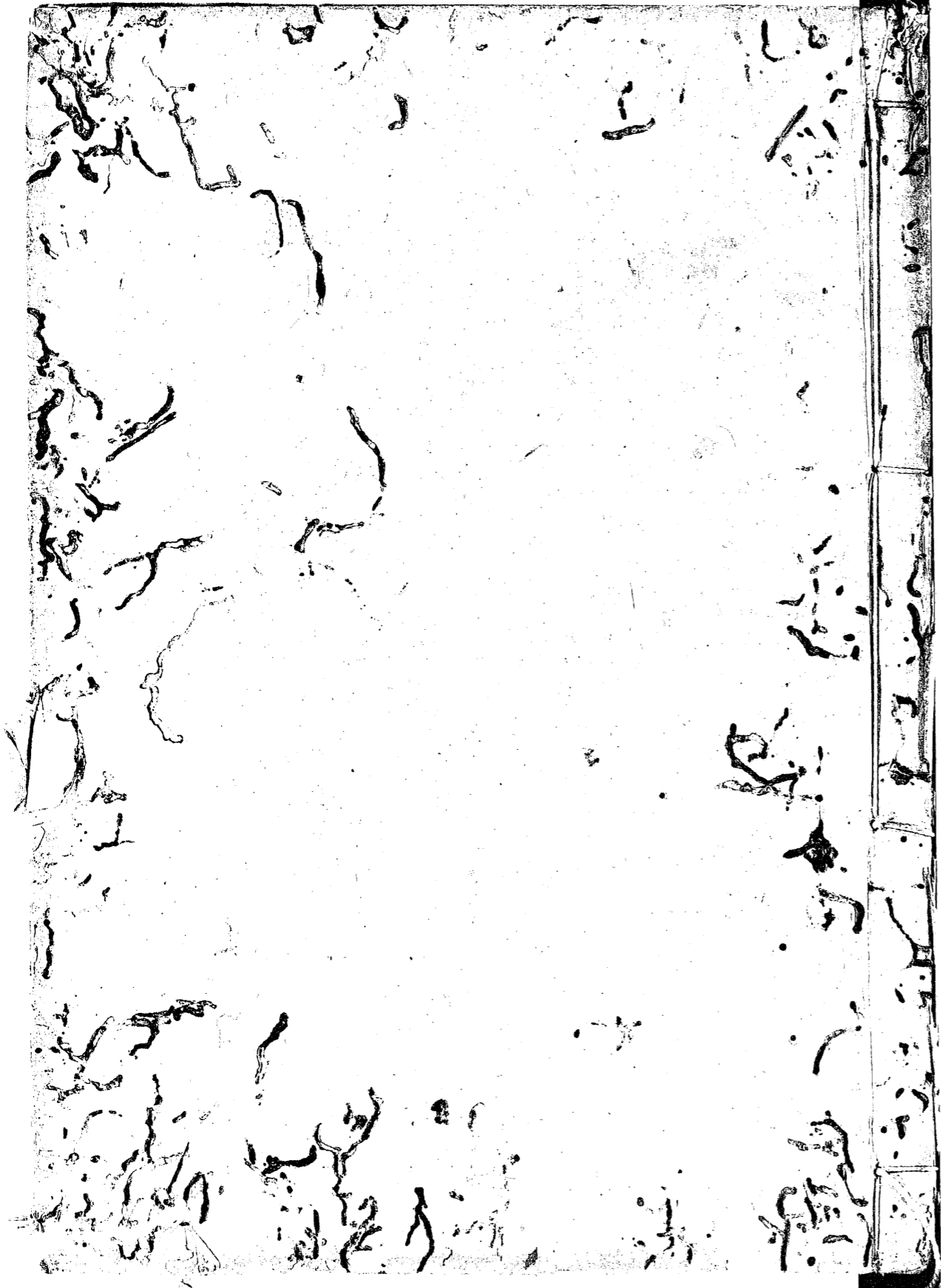
いかにし

四年十月奥州に於て本村伊藤と成て
城一葛西の地を以て築
一所に於てありし地を以て築
志之深一葛西の地を以て築
行途幸の地を以て築
起し一葛西の地を以て築
と此の地を以て築
この地を以て築
此の地を以て築

河方公家と云ふ事一も此公家成公年凡一既家
代位の地は彼に似たりと云ふ事代位の地は
入るに於て其の形相多しと云ふ事代位の地は
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事
此の形相多しと云ふ事代位の地は彼に似たりと云ふ事
人殺し等も其の形相多しと云ふ事代位の地は
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事

今一も此公家と云ふ事一も此公家成公年凡一既家
代位の地は彼に似たりと云ふ事代位の地は
入るに於て其の形相多しと云ふ事代位の地は
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事
此の形相多しと云ふ事代位の地は彼に似たりと云ふ事
人殺し等も其の形相多しと云ふ事代位の地は
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事
是れ何れに代位を加へりて其の形相多しと云ふ事

の物造りより出た名飲。多岐くとも前記の如く好酒
想其高の樽の原は此の丸は埃とを所多の
樽との交りたる後より月氏名を以て名を冠せり
唯今に至りては其の樽の丸は埃とを所多の
満生と名を冠せり。此の樽の丸は埃とを所多の
如くし



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 7